

# JAAC だより

— 求められる語学力とは —

～ “語学” とは “英語” だけではありません ～

本格的な就職活動が始まっている中で、最近の日本の企業は“語学力を重視する”傾向にあるという話題が各メディアで紹介されていました。皆さんの誰もが知っている某大手アパレル販売会社や、その他の大手重工業会社では社内での中間管理職以上の会議は英語で行うことを発表したり、採用する人材は日本人とは限らないとも伝えています。ある会社の代表は、『当社は海外にも多くの店舗や営業所を持ち、多くの外国人を採用しているわけですから、社内での会話や会議は英語で行うのは当然だと思いますが・・・』と語っています。このように、採用している外国人社員の多い、少ないにかかわらず徐々に社内での公用語を英語に切り替えていく会社が増えてきています。日本の会社がこのような傾向を辿ることに驚きを感じるかもしれませんが、日本にある外資系の会社の多くは以前から社内での公用語は英語とその企業の本国のことばとを使っていたわけですから、見方によっては驚くことではないのかもしれませんが、しかし、注目すべきは、何故、今ここにきて日本の会社が語学を重視する傾向になってきたか、ということです。もちろん、何年、何十年も前から語学力を必要とする企業は多く存在していましたが、ここ最近になって、中小の企業でも職種、業界にかかわらず“語学の必要性”を強く主張するようになりました。

どの企業でも共通して訴えていることは、“語学”とは“英語”だけを言うものではない、ということです。現在でも日本社会の日常会話の中で言われる『語学』とは、一般的に『英語』を指すという認識はごく自然なことだと思います。『私も語学ができればなあ・・・』と言う人が意図することは、『私も“英語”ができればなあ・・・』ということになるのだと思います。アメリカの大学で学ぶ留学生の皆さんにおかれては、皆さんの周りには色々な国からの留学生がいるわけですから、“語学”と言えばそれは自動的に“英語”を指すものではないことがお分かりのはずですね。“語学力”を必要としている企業は、日本以外の外国との仕事上の関わりを持つ会社がほとんどです。ですから、中国との関わりを多く持つ企業にとっては、その会社が言う“語学力”とは“中国語”を指すものなのかもしれません。つまり、“語学”とは色々な国の言葉を学ぶことを指すことであり、決して“英語”だけを示している言葉ではないのです。企業が言うところの“語学力”を重視するということは、そのニーズに合った国の言葉の理解力とコミュニケーション力を言っているのだと思います。

前述しましたが、今ここにきて何故日本の会社の多くが語学力を重視するようになったのでしょうか。そこには色々な理由があると思いますが、その全てに関係することとして、日本の企業の多くが多かれ少なかれ海外との関わり無しには業務が成り立たない状況になってきているのではないのでしょうか。その中には、企業の意思に反して海外資本の傘下に取り込まれざるを得ない企業もあるのです。日本で創業した歴史ある企業がやむを得ず会社の生き残りをかけて、外資の傘の中に入らざるを得ない決断をする際には断腸の思いで臨む経営者も多いことでしょう。海外との関わりとはその会社の業務上だけに留まらず、会社の存続にも関わるほどに日本の経済と社会が変化してきている事実を見逃してはなりません。まだまだ企業が“語学力”を必要とする理由はあるでしょうけれども、一つ確信できることは、その理由の如何に関わらず、多くの企業がもはや日本語だけでは業務を行うことができない（企業として生きていけない）時代に入ったということではないのでしょうか。貿易立国として成り立つ日本としては、昔から語学の必要性を説いてきました。また、観光にも力を入れるようになり、多くの外国人が日本を訪れることから必然的に外国語の習得が絶対条件にもなってきています。近年、中国の経済発展によって多くの中国人富裕層の人たちが日本を訪れています。彼等の多くが買い物に行く場所には、中国人従業員や中国語を話せる日本人スタッフを配置するなどして対応しています。また、外国人観光客を取り込もうとしている観光の名所では、もともとあった英語だけのパンフレットに加えて新たに多くの言語による観光案内書などを作成しています。地方のホテルや旅館でも、新たに複数の外国語に対応できるようそれぞれの言語を話す外国人スタッフを採用したり、従業員に対する語学研修を強化したりという対応に追われているのが現状です。このように、企業の大小や業務の如何に関わらず、様々な業種と業界の企業の多くが“語学の対応”策を真剣に考えているのです。JAAC生の皆さんには、是非ともこの状況を把握していただきたいと思います。その上で、将来の進路や就職を希望する業界や業種を検討していただきたいと願っています。

(カリフォルニア事務局： 照井)

- ● 家族のあり方 ● - (3)

“文化の違い、価値観の違い”

アメリカのごく一般の家族の場合、お父さんとお母さんが再婚者同士で、それぞれの子供たちを連れ添って結婚したというケースは少なくありません。子供たちも、『私のお父さんは Step father (義父) なの・・』とか、『お母さんは Step mother (義母) なんだ・・』などと気軽に話す場面が多く見られます。アメリカでホームステイを経験された方であれば、なかにはこんな場面を目の当たりにした方もいらっしゃることでしょう。最近では、日本でもこうしたケースは多く見られるようになりました。しかしながら、日本人の感情的、心理的、精神的な心の負担や、周り近所や世間体の目という社会的な環境と状況など、文化的な背景から創られた日本人独特の国民的感情といったものを考えると、こうしたケースを容易に受け入れる土壌は日本にはまだないと言っても良いでしょう。先に述べた連れ子を伴っての再婚の場合、どうしても「私の子供」と「相手の子供」という意識が働いてしまうのは、ごく自然なことだと思います。

子供とその実母、実父との関係は、その後、彼等がどのような家庭環境にいても、いつまでも血の繋がった本当の母と子であり、父と子であることは間違いありません。しかし、アメリカの例においては、義父や義母と暮らす子供が実父や実母と定期的に会う権利を認められている場合、それに従ってその子供はある一定の時間を実父や実母と過ごすこととなります。どのような感情を持つと、義父と義母はこれに従わなくてはならないのです。また、その子供の成長において必要であれば、義父や義母は子供の実父や実母と会って話し合いをすることとなります。ここには、感情論よりも義務を重んじる姿勢、言い換えれば、親の持つ感情よりも当の子供のことを重んじる姿勢が見られるようにも思えます。子供のことを中心にして物事を考えるということは、アメリカだから・・とか、日本ではなかなか・・、というように国の違いや大人の論理を持ち込むものではないような気がしてなりません。子供はその親だけのものではなく、我々の社会共有の財産であるはずで。しかしながら、最近では日本でも『ネグレクト (育児放棄)』に関する報道が多くされるようになり、また、『Child Abuse (幼児虐待)』問題も後を絶ちません。これらの報道を見聞きするたびに、本当に悲しい思いになり、残念でならない気持ちを隠せません。家族のあり方をもう一度、自分なりに考えてみませんか。(カリフォルニア事務局： 照井)

**カリフォルニア通信**

(カリフォルニア担当：新井 康平)

【再度、運転についての注意をします】先だって日本でも報道されたように、ユタ州で日本人観光客が乗った小型バスがフリーウェイ走行中に横転し、死者と重傷者を出す事故がありました。どうやら、事故の原因はこちらに住んでいる日本人運転手の居眠り運転のようです。アメリカのフリーウェイは、どこまでも一直線で運転中に眠くなる場所もたくさんあります。JAAC生の皆さんには、運転中に眠気を感じたら、無理をしないで必ずどこか休める場所に車を移動して、少し体を休めましょう。特に夏休みを日本で過ごされた学生の皆さんは、アメリカに戻ってすぐに運転をする際には特別の注意を払うようにしてください。自然に体や目の感覚がアメリカの道路や交通法規に慣れるまでは、慎重にハンドルをにぎるようにしましょう。

【UCI キャンパスは国際色豊かににぎわっています】夏のこの時期は色々な国からの研修グループが UCI に来ていて、キャンパスはとても国際色豊かになっています。日本からの大学生グループをはじめ、ヨーロッパや南米から研修に訪れるグループには専門職の方々が多く見られます。UCI キャンパスではもともと数多くの留学生が学んでいることから、普段からとても国際的な環境のキャンパスなのですが、特にこの時期には幅広い年齢層の参加者や、色々な仕事に従事されている専門職の方々がいらっしゃいます。こうした参加者の中には、自国で英語を教えている教師の方や、金融関係に勤めている方、また、経営や経済の分野で活躍されているビジネスマンの方々も多くいらっしゃいます。これらの方々との出会いもとても楽しいものです。それぞれのお国事情を話しながら、私も色々な勉強ができています。

**ミズーリ通信**

(ミズーリ担当：ライマン・ピットマン)

【必要な情報は覚えておきましょう】私が子供のころ、私の両親は「私が常に絶対に覚えておかななくてはならない事柄がある」、ということをごいほど私に言い聞かせていました。それは今、私が JAAC 生に対して同じ事を求めていることなのですが、時として残念な結果に終わってしまうことがあるのです。例えば、学生に彼等の住所を尋ねれば、メモ書きした紙を引っ張り出さないと答えられないとか、ほとんど全員の学生は自分の電話番号は携帯に表示されたものを見なければ分からない、と言った具合です。その時々に必要な情報がスムーズに出てこないことが、私は心配なのです。このように、私が言う必要な情報とは、学生たちが日常の生活を送る上で、何度も繰り返し尋ねられては答えるという、日々の生活の中で必ず必要と言って良いほど決まり切っていることなのです。それらの情報を身につけていることは、ある意味では無駄な時間と労力を省くことにもなりますね。そこで、皆さんがアメリカに到着したらすぐに暗記しておく便利な事柄を記しておきましょう。それらは、1) 住所の通り名と番地、2) 皆さんが滞在している町の名前を正しいスペルで書けるようにする(例えば、Girardeau です。慣れれば難しいスペルではないはず)、3) Zip Code (アメリカの郵便番号のようなものです)、4) 自宅の電話番号と携帯番号、5) 大学の学生証番号 (ID ナンバー)、6) ホームステイをしている学生はホストファミリーの名前をフルネームで覚えましょう、などが挙げられます。これらの事をきちんと覚えていないと、地元のアメリカ人から愚かな学生だと思われてしまい、二重の苦痛を味わうことになりかねません。それは、皆さんも望んではいないはずで。

## Siesta ちょっと、一休みしませんか…？

～ The early bird catches the worm. ～

『早起きは三文の得』

7月の終わりに私の大学時代のアメリカ人の友人が仕事で来日しました。その時に奥さんを伴って早朝の築地市場ツアーに参加したそうです。朝5時にホテルをツアー・バスで出かけて、朝食に寿司を食べるなど、観光客そのものですね。築地では初めて見る魚の競りに感動したらしいですよ。帰国する前に彼等と会って食事をした時のこと、築地で見聞きしたことを楽しそうに話していました。観光客用に試食のつまみ食いをさせてくれるお店や、朝食の寿司を食べに入ったお店で特別なサービスを受けたことなどを話して聞かせてくれました。築地ツアーに行った日は、朝の4時に起きたそうです。『築地ツアーは楽しかったみたいだね？』と尋ねると、彼は奥さんと共に満面の笑みを浮かべながら、築地で受けたサービスやおまけの数々を披露してくれました。その時に彼の口から出た言葉が、『The early bird catches the worm.』でした。日本語に訳せば、『早起きは三文の得』という意味になります。彼等にとって築地観光の日は、まさにその通りだったのでしょね。久しぶりに「動物が登場することわざ的な慣用表現」を耳にしました。

## Help Line

FAQ

「健康診断ってした方がいいですか…？」

**A:** お答えから言いますと、した方が良いですね。何か今身体に不調を感じているのでしょうか？ これと言った持病があるのでなければ、あまり神経質になることはないと思いますが、1年に1回くらい夏休みに帰省するのであれば、その時に日本で定期的に健康診断を受けられたらどうでしょうか。よくご両親と相談しながら受診されることをお勧めします。アメリカでの健康診断は受けたくても、なかなか病人ではない人の身体全てを検査するということはありませんので考えない方が良いでしょうね。いずれにしても、将来の就職などを考えると、1年に1度程度の定期的な健康診断を受けることは体調を管理する上でも望ましいことだと思います。また、健康診断を受けて何事もないければ、アメリカで一人の生活をしていても余計な心配をする必要もありませんね。また、どこか悪いところが見つければ、早期の治療が可能になるので、簡単な気持ちで健康診断を受けてみてはいかがでしょうか。

**【編集後記】** ●急激な円高が進んでいる。先日、一時1ドル=84円台まで買い進められた。これから海外へ行かれる人は得だろうが、輸出企業はたまったものではないだろう。日本の社会にとって適切な為替レートがいくらなのか、誰か分かる人はいるのだろうか▼毎年8月は広島と長崎で原爆被災者の慰霊祭と核廃止に向けての宣言が行われる。今年初めて原爆を投下したアメリカの代表がこの式典に参列した。このことが、今後の世界の平和に向けての第一歩となることを心から願っている■毎年8月にはもう一つ大事な慰霊祭がある。1985年に御巣鷹山で起きた日航機墜落事故である。今年事故から25年目を迎えた。日本の航空輸送上の安全は確保されているのだろうか。JALの再建問題が取り立たされているなかで、この悲劇を風化させてはならないし、安全に対する強化と認識も継続していかなくてはならない▲先だって、アメリカのユタ州で日本人観光客が乗っていた観光バスが横転事故を起こし死者が出た。事故の原因は運転手の居眠り運転だと言われている。JAAC生の皆さんも運転には十分に気をつけていただきたいと思います。眠気や疲れを感じる前に休憩を取ることが大切ですね。(照井)

## Let me remind you . . .

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

- ▲WHO (世界保健機構) は1年2ヶ月ぶりに新型インフルエンザ (インフルエンザ A (H1N1)) におけるパンデミック (世界的大流行) の終結を宣言しました。これからも各自で体調管理を怠らないようにしましょう。
- ★米国及び日本で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラムへの参加: 2011年・2012年卒業予定の皆さんにおかれましては、日本や米国各地で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラム、海外大生を対象とした就職説明会などに積極的に参加されることをお勧めいたします。インターネット等でこれらのフェア開催日程を調べ、前もって皆さん各自のスケジュール調整を行い、多くの企業担当者やフェア開催団体のカウンセラーとの面談に努めてください。  
※今年のボストン・キャリアフォーラムの予定は、<http://www.careerforum.net/event/bos/> を参考にしてください。
- ▼アメリカに戻る準備は進んでいますか?: 日本で夏休みを過ごされた方もそろそろ秋学期に向けてアメリカに戻る準備を進める時期となりました。出発前までに体調を万全に整えて、秋学期に臨めるように各自で調整をしてください。また、アメリカへの再入国の際にはそろっていますか? 何か不明な点や質問などがありましたら JAAC 本部または JAAC カウンセラーに早めにご相談ください。
- JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口:  
フリーダイヤル 0120-525-626 [tokai@jaac.co.jp](mailto:tokai@jaac.co.jp) 担当: 高瀬  
JAAC 日米学術センター 鈴木: [t.suzuki@jaac.co.jp](mailto:t.suzuki@jaac.co.jp) ©カリフォルニア担当: 照井 [k-terui@mtg.biglobe.ne.jp](mailto:k-terui@mtg.biglobe.ne.jp)